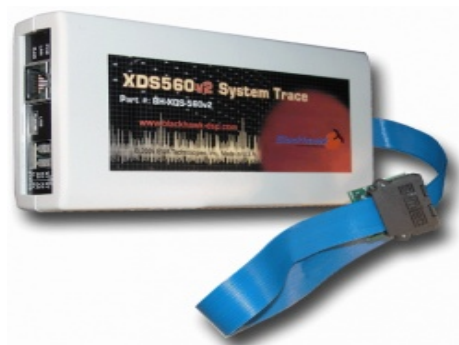
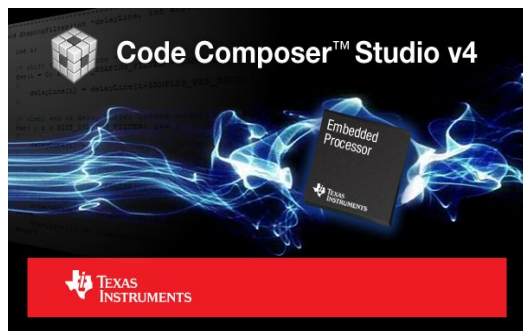


EWA 社 Blackhawk 560V2 TI 社 Code Composer Studio 用ドライバ インストールガイド

第 1 版 2011.12



ROINOS

複製禁止

株式会社 ロイノス DSP 開発ツール

Tel 053-762-3681 Fax 053-762-3682

URL : www.roinos.com Email : tool@roinos.com

目次

1. まえがき	1	9. CCS セットアップに関する役立つ知識.....	6
2. システム要件	1	9.1 GEL の利用 (CCS Ver4 対応のため)	6
3. 取り扱い上の注意事項と保証期間	1	9.2 DSK、eZdsp 用のパッチ	7
4. 梱包内容	2	10. CCSVer4 の設定と起動	7
4.1 バスパワー動作タイプの場合	2	10.1 USB 接続、DSK6713 の例.....	7
4.2 PoE セット追加タイプの場合	2	11. トラブルシュート	9
5. Code Composer Studio インストール	2	12. 故障対応	9
5.1 CCS Ver4 の場合	2		
5.2 アップデートソフトの入手	4		
6. エミュレータの組み立て	5		
6.1 本体とリボンケーブル	5		
6.2 ターゲットアダプタ	5		
7. XDS560V2STM の認識	5		
7.1 USB 接続の場合	5		
7.2 PoE 接続の場合	6		

1. まえがき

EWA 社エミュレーションシステムとテキサス・インスツルメンツ社(以下 TI) Code Composer Studio(以下 CCS)を組み合わせることで実機のエミュレーションを行うことができます。システムの特徴は次の通りです。

- TI の DSP の JTAG インターフェイス(IEEE 1149.1)をサポートしています。
- さまざまな形状の JTAG ヘッダーに付属の変換器で対応できます。
- 高性能エミュレーションコントローラで高性能を実現。
- MIPI システムトレース機能も装備
- ホスト PC とイーサネット通信出来ます。
- ホスト PC と USB2.0 で通信出来ます。
- +1.2V から+4.1V までの JTAG I/O 電圧対応
- 電源表示 LED あり
- 運用状況表示 LED 7 個
- イーサネット状態表示 LED 2 個
- リセットスイッチ
- 5V 電源使用
- TI の CCS, DSP BIOS、 RTDX に対応
- Windows 7/Vista/XP/2000 対応

製品には 2 種類あり、USB バスパワー動作のみを前提とした製品セットと、それに加えて LAN の PoE 電源供給もできるようにした製品セットがあります。

- USB バスパワー動作タイプ XDS560V2 STM/BP (こちらが基本的な Blackhawk5460V2/STM です。)
- 上記製品に PoE 電源が追加 XDS560V2 STM/PoE

2. システム要件

エミュレータと TI の CCS、JTAG 接続の DSP ターゲットボードを使用する方を主な対象としています。ホストパソコンに必要な条件は下記の通りです。

- ▲ Windows の走る IBM PC/AT 互換機
- ▲ Windows 7/Vista/XP/2000
- ▲ HDD 2GB 以上の空き
- ▲ 最低 1GB の RAM、2 GB 推奨
- ▲ 1.5 GHz の CPU、デュアルコア推奨
- ▲ カラーディスプレイ
- ▲ インターネット接続環境
- ▲ USB ポート

3. 取り扱い上の注意事項と保証期間

製品は、実用性を踏まえつつ設計されておりますが、機構上長期間に渡る機械的負荷で損傷を受ける個所がございます。製品を長期にわたって安心してお使いいただけますよう、製品には**機械的衝撃を与えない、ケーブル部に機械的応力(張力、荷重、ねじれ力)をかけない**ようお願いします。

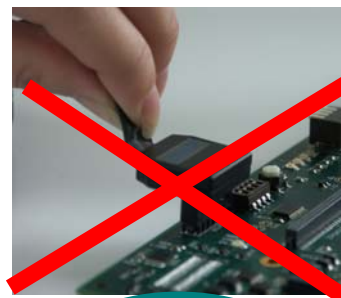
ターゲットの電源とホスト PC の電源はできるだけ近くからとり、フレームグラウンドの電位差が発生しないようにして下さい。電位差がある状態で JTAG の端子を挿抜しますと、機器が破壊されるおそれがあります。また、大電流を扱う機器、力率の悪い機器と AC を共用する環境では、フレームグラウンドの電位差による**循環電流を流さない**ようにホストパソコンとターゲットボードのグラウンドはエミュレータとは別に導線で常時接続することをお勧めします。

また、製品の保証期間は一年間で、その期間内に正常な使用状況において故障した場合には修理は無償です。その期間を過ぎた場合には有償の修理となります。

ロイノスでは 1 年を超えた後でも、有料にて年間サポートを承っております。詳しくは弊社の web あるいは営業までお問い合わせ下さい。

製品の構造上、JTAG コネクタの部分の接続が割と弱く、コネクタの挿抜の際にケーブルを引っ張るとコネクタ内部で接触不良が起き、CCS の動作が不安定となります。

かならず JTAG コネクタのシェルをつまんではずすようにしてください。



(写真は Blackhawk560V2 ではございません)

4. 梱包内容

製品の箱の中に以下のものがある事をお確かめ下さい。

4.1 バスパワー動作タイプの場合

- (1) 本体
- (2) CD-ROM
- (3) クイックスタートガイド
- (4) USB ケーブル
- (5) ターゲット接続ケーブルとバッファボード
- (6) アダプタ 4種類(TI14,CTI20,ARM20,TI60)
- (7) 日本語インストールガイド(本書)



4.2 PoE セット追加タイプの場合

- (1) 本体
- (2) CD-ROM
- (3) クイックスタートガイド
- (4) USB ケーブル
- (5) ターゲット接続ケーブルとバッファボード
- (6) アダプタ 4種類(TI14,CTI20,ARM20,TI60)
- (7) 日本語インストールガイド(本書)

下記が追加となります。

- (8) AC ケーブル
- (9) PoE 用 AC アダプタ
- (10) LAN ケーブル 青 1本、黒 1本



5. Code Composer Studio インストール

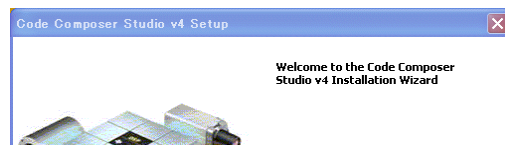
CCS をインストールしていない場合はインストールします。CCS をすでにインストールしている場合、本章は読み飛ばしてください。

5.1 CCS Ver4 の場合

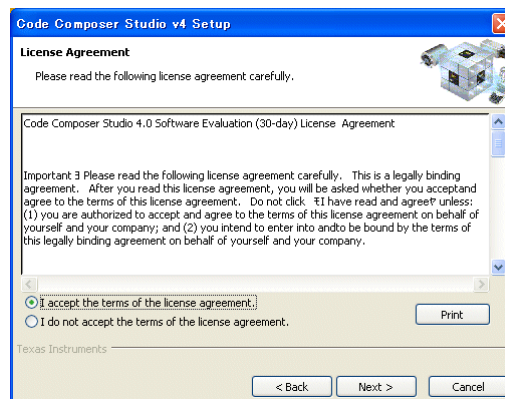
- (1) DVD-ROM もしくはバージョンアップの権利を利用して入手したダウンロード済みファイルを実行してインストールして下さい。
- (2) 例えばダウンロード版の場合は下記の実行ソフトを開始して下さい。



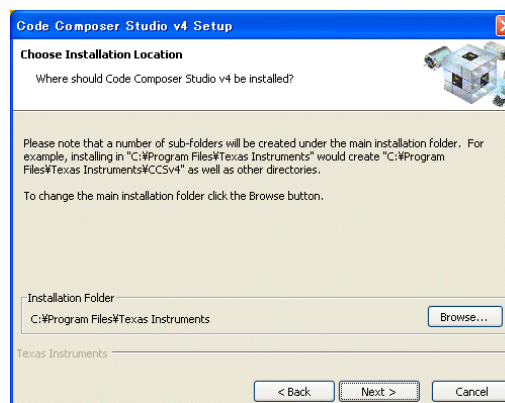
- (3) Welcome の画面では **Next>** を押して下さい。



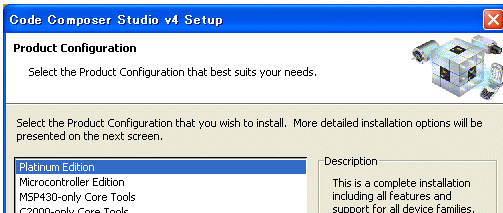
- (4) License agreement 画面では内容をご確認の上 **I accept...** を選んでから **Next>** を押して下さい。



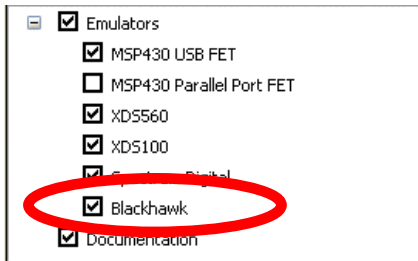
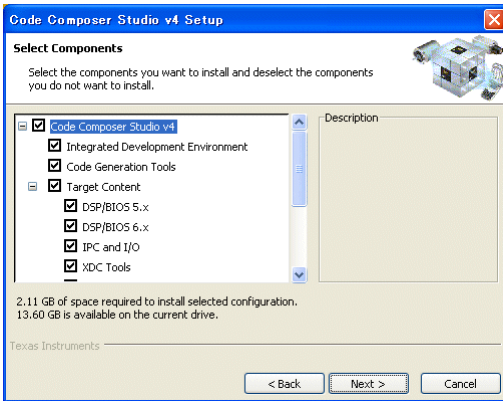
- (5) Choose Installation Location では CCS のインストールフォルダを決定の上 **Next>** を押して下さい。



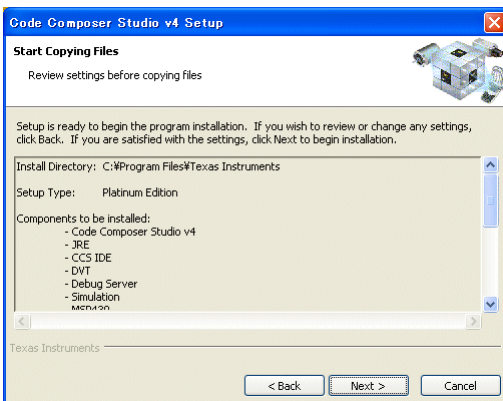
- (6) Product Configuration では **Next>** を押して下さい。



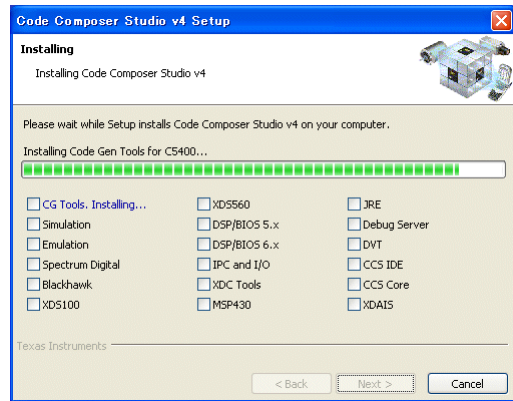
(7) Select Components ではインストールしたい機能を選択の上 **Next>**を押して下さい。その際、Emulators のグループの Blackhawk にはチェックが入っている必要があります。



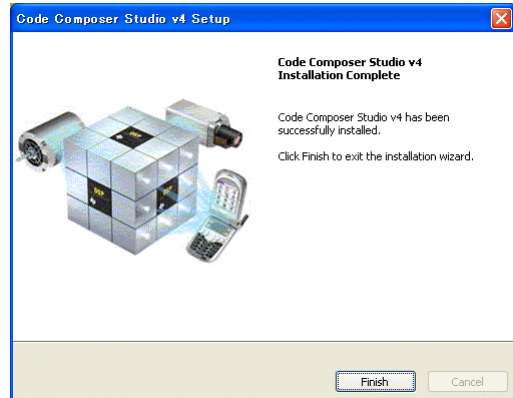
(8) Start Copying Files では **Next>**を押して下さい。



進捗が表示されつつ、インストールが行われます。

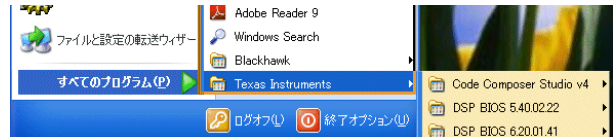


下記画面が現れたら **Finish**を押して下さい。



インストールが終わったら一旦再起動して下さい。

(9) CCS の開始は下記のようにすればできますが、現在はまだエミュレータの準備ができていませんので、つぎにエミュレータを認識させます。次章に進んでください。



補足 : Windows7

互換性の問題で動かない場合には CCS の実行ファイルのプロパティを変更し、Windows xp 互換で動作するようにさせてください。